

(別紙)

成果の説明書

(氏名) 井上 真由美	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>【研究活動】</b></p> <p>本年度主に取り組んだのは次の二つである。</p> <p>(1)</p> <p>前年度に引続き、戦後日本を代表する企業家の一人である出光佐三氏（出光興産創業者）の事業活動の在り方（国民経済の望ましいあり方・秩序というべきものを追求した）に大きな影響を与えた条件を考察した。今年度はその条件の一つである、神戸高等商業学校在学中に恩師であった水島鍊也氏の教育活動について重点的に調査を行った。この調査で注目したのは次の二点である。①水島氏の商業教育の理念とはどのようなものであったのか、②またその理念は出光氏をはじめ和田恒輔（富士電機製造の経営者）、永井幸太郎（日商の経営者）といった後のビジネスリーダーたちにどのようにして伝えられたのか、である。</p> <p>(2)</p> <p>戦前のステークホルダー型企業（エージェンシー関係を忌避した企業）の特徴について、出光と兼松を対象に考察を行った。それぞれのステークホルダー型企業としての特徴だけでなく、企業統治上の諸問題にどのように対処していたかについても検討を行った。</p> <p>上記二つの成果は、次年度に学会誌へ投稿する予定である。</p> <p>(その他)</p> <p>アーリーライザーズ・クラブ講演会において「出光佐三の士魂商才・家族主義・地域小売主義」というタイトルで講演を行った（2013年6月24日 於帝国ホテル大阪）</p> <p><b>【教育活動】</b></p> <p>ゼミ3年次生が夏休み期間中に長寿企業に関する調査を行った。その成果報告会に調査対象企業の一つであるDOWAホールディングスの元社長で現相談役である吉川廣和氏をお招きし、学生の報告に対してコメントをいただいた。業界の第一線で活躍される氏のコメントは、企業が長期にわたって存続する上で何が必要か、近年グローバル化がどのように進んでいるか、今どのような人材が求められているか等、就職活動を迎える前のゼミ生たちにとって大変有益なものであった。</p>	
2 その他の事項	